

## 第4回「日本・ギリシヤ基礎の耐震設計、実験・観測、耐震補強に関するワークショップ」を開催

田蔵隆 (清水建設(株))

2011年10月6日と7日の2日間に行われ、表記のワークショップが神戸学院大学で開催された。参加者はギリシヤをはじめ、米国、イタリアなどからの24名と日本側からの参加者に加え、総勢60名であった。

小長井一男地震工学委員会委員長のオープニングスピーチ、早稲田大学濱田政則教授、東京工業大学川島一彦教授をはじめとする6



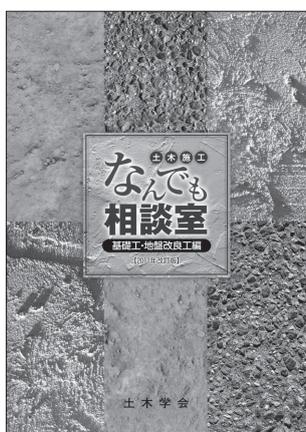
写真1 ワークショップ参加者

名の招待講演、さらに36編の研究発表が行われた。投稿論文の総数は50編であり、論文集は3分冊、総頁数は666頁の大著となった。

このワークショップのギリシヤ側の代表は、アテネ工科大学のGeorge Gazetas教授(ギリシヤ地震工学会会長)である。同教授は1995年の阪神・淡路大震災の直後、二度にわたって神戸を訪れ、その後は1999年より毎年、同教授の研究室の学生を連れて来日し、地震被害と復興の現状を神戸の各地で現地教育している。このワークショップの開催は、同教授が2004年6月に日本を訪れた際、当時の地震工学委員会の委員長であった後藤洋三氏(現東京大学地震研究所特任研究員)との対談で、日本とギリシヤの研究交流を定期的に行おうという提案から始まったものである。

過去3回のワークショップは、第1回がギリシヤのアテネ(2005年10月)、第2回は土木学会講堂(2007年4月)、第3回はギリシヤのサントリーニ島(2009年9月)で開催されている。次回の第5回は2013年、開催地は中国の東南大学とギリシヤのリゾート地が候補に上がっている。

### 土木学会の本



## 土木施工なんでも相談室 [基礎工・地盤改良工編] 2011年改訂版

本書は、現場施工あるいは計画・設計部門で活躍する入社5年程度の土木技術者を対象として、日頃の解決したい疑問に施工技術者の立場で回答したものであり、若手土木技術者にとって有益な資料となるものです。

今回の改訂版では、土木工事の各工種に共通する基礎工、地盤改良工の疑問・回答を共通編として「直接基礎工」、「杭基礎工」、「地盤改良工」に、各工種に特有の疑問・回答を、「シールド」、「山岳トンネル」、「造成・道路土工」、「海洋」、「河川」、「近接施工」に分類して、基礎工および地盤改良工に関する疑問・回答が9章の構成でわかりやすくまとめられています。

- 編集：建設技術研究委員会 土木施工Q&A小委員会(委員長：戸田建設・赤塚光洋)
  - 2011年10月発行、A4判、262ページ、並製本
  - 定価：2,310円(本体2,200円+税)→**会員特価：2,080円**※注
  - 送料：470円
- ISBN 978-4-8106-0713-0

注文・  
問合先

土木学会 出版事業課 書籍販売係  
TEL 03-3355-3445 / FAX 03-3355-6055  
■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>  
■FAX注文 学会誌編込み「図書注文書」をご使用ください

丸善出版(株)  
TEL 03-3512-3256 / FAX 03-3512-3270  
※注)丸善出版への注文には会員特価は適用されません